

各組合・地域労連 殿

青森県労働組合総連合

青森市大野字若宮165-19

TEL 017-762-6234

FAX 017-729-2186

メール ao110@kenrouren.jp

【発信者】事務局長 有馬美恵

昨日の報告をします・・・「何もない、なんでもほしい」

本日、支援物資輸送第2弾出発します！

昨日、宮城県労連に支援物資（おむつ、トイレットペーパー、生理用品、衣類・靴類など）を届けました。以下に見聞きした現地の様子をお知らせします。

仙台市内のコンビニの多くは閉店、省エネのためか街は暗く、夕方閉まったガソリンスタンドの前には徹夜組の車が何百メートルも並んでいました。全ての車がエンジンを消し、寒いなか翌朝までガソリンを待つ姿に心痛みました。宮城県労連の役員も深刻なガソリン不足で身動きがとれないそうです。水道は、青葉区は19日に復旧しましたが、まだの地区もあり、ガスが今後1ヶ月以上使えないそうです。スーパーでの買い物は数時間待ち、ライフラインの切断された都市で苦勞して生活されていました。



夕方6時過ぎに震度4の地震がきました。すぐにドアをあげ出口を確保、毎日の余震でみなさんととても神経をすり減らしている様子が伝わりました。

懇談の途中、届いたFAXを見た宮城県労連の議長が突然号泣されました。連絡の取れなかった元争議団2人の無事が確認されたという内容でした。私（有馬）も一緒に泣きました。これで確認できたのは11人目とのことで、毎日がこんな状況なんだと、つくづく心痛みました。「物資で何が必要ですか？」とお聞きしたら「何もないんです。何でも必要です。特に防寒着などの衣類、歯ブラシ・生理用品などの日用品、ガスが使えないのでカセットコンロのボンベ、ホットプレート・・・」と言われました。

持って行った物資を見て、とても喜んでくれました。特に農民連からいただいた卵1ケースがとても喜ばれ、「赤ちゃんに食べさせたい」と言われました。

今日も、昨日と同じくらい10万円分の物資を知り合いのスーパーから購入し、宮城県労連に届けます！明日はいわて労連にいきたいと思っています。が、物資がおいつきません。ぜひみなさんの義援金のご協力をお願いします！また、寄付できる日用品がありましたら、県労連にご一報ください。

青森県内ではすでに、民医連（青森保健生協、津軽保健生協）が医師や職員が医療物資を積んで宮城の坂病院に支援に行っています。農民連も米やリンゴを大量に東北各地に輸送しています。「今できること」から、力合わせてやっていきましょう！